



ZOZO マリンスタジアム 人工芝の張替えの件

株式会社千葉ロッテマリーンズと千葉市は、2017年7月に実施した人工芝の張替えに関する公募型プロポーザル提案において、日本道路株式会社(東京都港区)を選定し、2018年シーズンより、千葉ロッテマリーンズの本拠地「ZOZO マリンスタジアム」にミズノ株式会社が積水樹脂株式会社と共同開発した野球専用人工芝「MS Craft Baseball Turf」(エムエスクラフト ベースボールターフ)を採用することになりましたのでお知らせします。天然芝に近い感覚でプレーできる野球専用の人工芝で、特殊加工により芝葉を捲縮(けんしゆく)させることで選手の足元における横ブレを軽減できることでプレーの安定性につながるなど、多くのメリットを生み出しています。また、芝表面が光を分散させ照り返しを低減するので、プレイヤーと観戦者の目にも優しい人工芝となっています。2018年2月28日(水)に完成し、3月のオープン戦より使用を開始する予定です。詳細は別紙をご覧ください。



「ZOZO マリンスタジアム」(完成予定図)

「MS Craft Baseball Turf」の8つの特長

「MS Craft Baseball Turf」は人工芝の芝葉を捲縮させることにより、従来に比べ以下の点が改良されています。

耐 久 性	金属スパイクに対する人工芝パイルの耐久性が向上。 パイル引張強度減衰率は、従来品に比べ3倍相当向上。
長 期 安 定 性	芝葉の倒れ、へたりが少ないため、メンテナンスの頻度も従来より減少。
形 状 復 元 性	コンサートなどのイベント時や積雪時の载荷重による性能低下及びパイル形状変化を抑制。長期の载荷重により倒れたパイルはブラッシングで復元可能。これにより導入時の状態を長期間維持。
衝 撃 吸 収 性	野球用スパイク使用時の衝撃吸収性能が従来品比約15%向上。選手の足への突き上げ応力が減少し、足への負担を軽減。
プ レ ー 安 定 性	高密度人工芝と比較し、プレー時の载荷重による人工芝変形量が少なく、選手の足元の横ブレを軽減する。
充 填 材 安 定 性	従来のロングパイル人工芝と比較し、ボールバウンド時の充填材飛散を抑制。
バ ウ ン ド 性	経年によるへたり・倒れが少なく、芝目がないことからボールのバウンド・転がり方が安定し、イレギュラーバウンドが軽減。
景 観 性	カールしたパイルは、ランダムなねじれにより光が乱反射し、直毛パイルと比較すると照り返しを低減。快適な観戦環境の提供が可能。



旧人工芝

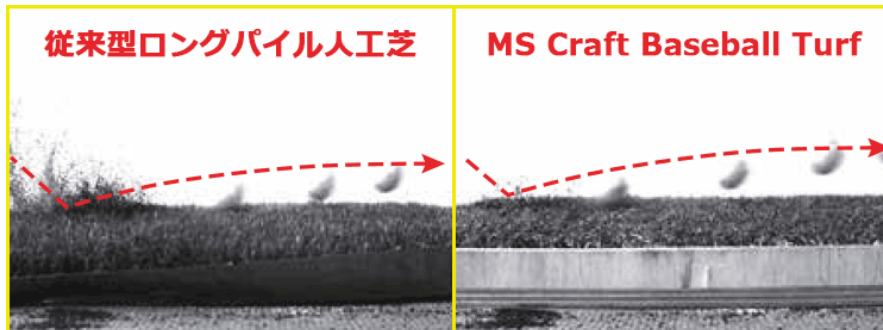


新人工芝

■ボールバウンド時の充填材の飛散の抑制について

従来品の場合、起毛性の高い形状となっており、ボールがバウンドした際に人工芝の間から充填材のゴムチップが飛び散り目に入ってしまうこともあり、選手のプレーの妨げとなっていました。

下記はピッチングマシンにて 170km/h の硬式ボールを人工芝に打撃させた様子の写真図です。充填材の飛散が抑制されている様子が分かります。



ボールバウンド時の充填材飛散確認試験の比較